

KASHIWARA



T つながりあおう NO. 6

M 学びあおう

柏原東小学校 研修部

学力向上推進だより

令和7年8月26日(火)

自分の考えをもち、伝え合う中で、自分の考えを広げ、深める授業の研究「言葉・図・式のつながりをかけるようにしよう」

校内研修 TM 指導案検討会 with 教育アドバイザー川北先生

### 8月25日研修内容

① 今求められている確かな力 **全国学力学習調査分析を通して**

② 公開授業指導案をアップデート **川北流方策 実践を参照して**

① 学力テスト調査結果をみて考えられることを話し合い共有した。

・説明しあう力が求められている→日々の活用力を磨ていく必要がある。

・図形→構成する要素を見出し活用できるように指導する。

・速さの意味について理解することに課題→速さなどの単位量当たりの大きさの意味や表し方を理解する。場面や目的に応じて比べ方を考察し、日常的に活かせるように指導する。

・数直線の理解度が低い、かけない児童が目立つ→経験値の低さからか。

・課題の提示の仕方に共通点があり、絵を含んだ問題が多い→文の読み取りでつまづく児童を減らしたうえで、数学的見方・考え方ができるかどうかを問うている。

② 本時の展開 再検討の視点（川北流）3つを通して各グループごとに指導案の再検討を行った。

### 3つの視点とは

① 導入時 5～7分指示後自力解決・グループワーク

全員が目的・方向性を持ちスタートできるか

② 伝える・まとめる場面【なにを】【どのように】

数学的な見方・考え方図・表・絵のどの部分をどの言葉・用語を活用するか

③ 成果物のイメージ【ノート・ワークプリント・伝え合った言葉・ひらめいたイメージ】ふり返りを豊かにする

#### 〈振り返り〉

- ・45分の授業の構成力や子どもが数学的な見方・考え方の力をつけられるように授業を考えていきたい。
- ・全員が同じ方向性をもって同じ土台でスタートできるかということで、“いかに数学的な見方・考え方に意識を向けるか”につながるのがなと思いました。
- ・指導案のブラッシュアップはもちろんですが、そこまでにどれだけのことをできるようにしておかなくてはいけないのかが少し見えました。
- ・課題を図で可視化し、時系列を表現させることが大事だと改めて思いました。“伝えあう”場面に図をどう使うか考えたいと思います。
- ・何をめざしているのか、子どもの姿で考えることで導入展開まとめの部分が具体的にイメージし整理できました。1つ分、いくつ分、全部の数など出てくる数が何を表しているのかを積み重ねていきたいなとも思いました。
- ・TMに向けて事前に先生方で意見を出し合ってブラッシュアップした上で川北先生にご助言いただき、ただ「やり方を覚える」ではなく本質を理解しているのかを図を使って説明できる力の大切さがよくわかりました。
- ・45分の授業を見える化することができていないと思いました。単元が進む過程を教室内に掲示したり説明する場や言葉を用意し鍛えることを2学期がんばりたいです。